

Trading care

共に生きる 共に働く

2026年9月1日
Vol. 76



はていはてい

HATI-HATI



HATI-HATIはインドネシア語で相手を思いやる時に使うやさしいことばです。

ミャンマー 「タナカ」体験

ミャンマーのタナカは、木の樹皮などをすりおろして作る伝統的な化粧料です。顔や体に塗ることで、日差しから肌を守ったり、肌を整えたりする目的で使われます。頬に模様を描くこともあり、ミャンマーの文化を象徴する伝統の一つです。塗るとひんやりしてそしていい香り！！



外国人の子供は虫歯が多いのか？

트레이ディングケア 塚本 紀之

高浜市健康推進グループの方から「ベトナム人のお子さんに虫歯が多い」と聞きました。中には歯が溶けるほどになっている子どももいるようです。健康推進グループとしても何らかの方策を打ち出し、虫歯予防の成果に繋がたいと思っています。

ベトナム人30代のお母さん3人とお話しする機会があったので、子どもの虫歯についても聞いてみました。そして、次の3点がわかりました。①外国籍の子どもの方が日本人より虫歯が多いことをベトナム人お母さんは知っている。②日本人と同様に幼い頃から歯ブラシトレーニングをスタートしている。③幼稚園入園または小学校入学を境に歯ブラシを少しずつ子ども任せにしていく。

私の推論は次の通りです。ベトナム人お母さんは子どもが虫歯にならないよう注意を怠りなくやりたいが、子どもの入園や入学、または自分のパートスタートや労働時間増加に合わせて、日本人より早いタイミングで歯ブラシを子ども任せにするとい

う現実があるようです。そのベースとしていつまで子どもを子ども扱いするか、という文化的な問題があると考えています。「先進国ほど子どもの時間が長い」との研究は多数あります。その一環で日本のお母さんは、長く子どもを管理下におき、その中で歯ブラシ実行を監視し、その結果、虫歯予防という成果を得ているというストーリーです。

別のベトナム人お母さんから興味深い意見を伺いました。その方によれば、①歯についてはトラブルになってから歯医者に行けばすむ。②しかも、母国では1回で安く直してくれる。③さらに、予約もいらない。とのことでした。

一般的に日本で歯医者にかかる場合、予約が必要であり、たいてい複数回の処置があり、しかも、1回ずつにそれなりの費用が掛かります。丁寧ですが、時間とお金が掛かります。とすれば、コスパとタイパの良い歯医者が出現すれば、外国籍の子どもの虫歯が減るかもしれません。



「アジア競技大会・2026」を見に行こう

日本語教師 林三郎

昨年の今頃、愛知県主催の「外国人県民による多文化共生日本語スピーチコンテスト」の本選が愛知県図書館大会議室で開催されていました。当センターの関係者も発表をされ、立派な賞を受けられたことを昨日のこのように思い出します。そしてその折に愛知県の大村知事から、「**アジア競技大会（愛知・名古屋2026）**」が紹介されました。第2次世界大戦の戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻し、アジアの恒久平和に寄与したいとの願いを込めて、1951年第1回大会がニューデリーで開催されました。日本では過去に東京と広島で2回開催されています。そして来月**9月19日（土）から16日間**、愛知県の各地を中心に、アジアの45の国と地域の参加で開催される運びとなりました。スローガンは「**IMAGINE ONE ASIA ここで、ひとつに。**」陸上や水泳など王道競技に加え、近年の注目競技であるeスポーツやブレイキン、スケートボード、セパタクロー、カバディといったアジアならではの種目も含まれます。当センターにも、アジアから来日された方が多くおられます。なかには、今回の大会にボランティアとして参加される方もいらっしゃると思います。今回のアジア大会を機会に、国や民族、言語や宗教、文化の違いを超えて、お互いの理解をさらに深めることができれば素晴らしいと思います。32年ぶりの日本での開催、しかも地元愛知を中心とした開催の機会です。私もどれかのチケットを手に入れて観戦して雰囲気を感じたいと思っています。



「日本に住むフィリピン人の結婚移住者が、年齢を重ねる中で、経済的な不安や孤独死の問題に直面している」という記事を読みました。

この記事を読んで、胸が痛くなりました。なぜなら、私もいつか年を取るからです。私はここ日本で家族を作り、これからできる限りここで人生を過ごしていきたいと思っています。でも、人生はどうなるかわかりません。誰にでも年を取る日は必ず来ます。では、私たちはどうやって老後の準備をすればいいのでしょうか。

記事にも書かれていましたが、フィリピンよりも日本で年を取るほうが安心だと思います。日本には整った生活環境や医療制度があり、年齢に関係なく、働けるうちは仕事を続けることもできます。私もそれはとても良いことだと思います。でも、多くの人が心配しているのは、年金が少ないことと、生活費がどんどん高くなっていることです。この先、私たちは本当に生活していけるのでしょうか。

老後にフィリピンへ帰ることは、心にとっては幸せなことだと思います。でも、自分が年を取って、誰かの助けが必要になった時、誰が自分の面倒を見てくれるのでしょうか。フィリピンには「家族の絆」という考え方があります。年を取った親の面倒を見ることは、家族の大切な役割だと考えられています。でも、日本で長く暮らしている私たちは、少しずつ日本の考え方にも慣れてきます。「家族に迷惑をかけたくない」「年を取ったら介護施設に入ったほうがいい」と考える人もいます。

もしあなたなら、どうしますか？

老後のために、たくさんお金を貯めますか？

生命保険に入りますか？それとも、

人生の最後に帰る場所を考えておくこと？

どんな方法を選んでも、私はただ、

年を取る時に一人にならないことを願っています。



【在職中も学び続ける皆様に応援します！スキルアップ研修のご案内】

トレディングケアでは、入国後講習を終えた後も、技能実習生や特定技能の皆様が日本で安心して働き、さらにキャリアアップできるよう手厚い学習サポートを継続して行っています。現在、日々の仕事と両立しながら受講できる「無料・有料の研修プログラム」をご用意しております。さらなるスキルアップや資格取得を目指して、ぜひご活用ください！

受講可能な研修・講座ラインナップ

- 1. 介護福祉士実務者研修（有料・無料送迎サービスあり）** 介護の専門性を高め、国家試験受験に必須となる講座です。令和9年度（2027年度）内に3回開講予定
 - 2. 介護福祉士国家試験対策（無料・無料送迎サービスあり）** 合格に向けた実践的な試験対策を実施します。**特典：**トレディングケアで「実務者研修」を受講された方は、全8回の対策講座を【無料】で受講いただけます。
 - 3. 日本語検定・日本語レベル成長講座（無料）** JLPTやJ.TESTなどの資格取得や、日常・業務での日本語力向上を目指す講座です。**開講日：**毎週 木曜日・金曜日
 - 4. 介護福祉士国家試験サポート（無料）** 日常的な疑問の解消や、継続的な学習習慣を身につけるための伴走サポートです。**開講日：**毎週 木曜日・金曜日
- 仕事と勉強の両立は大変ですが、トレディングケアは挑戦する皆様を全力で応援しています。受講申込みや詳細については、お気軽にお問い合わせください！

編集後記

スポーツ・音楽・芸術は国境や言葉の壁を越えて分かち合える素晴らしいものですね。皆さんで世界平和を想いながらぜひ観戦しましょう！

内藤



@TRAD.INGCARE



@TSUNAGU_TAKAHAMA

公益社団法人トレディングケア
〒444-1303
愛知県高浜市小池町6-5-6
TEL 0566-57-7700
FAX 0566-57-7700
日・月・祝日はお休みです。